

2023 年度北里大学薬友会定期総会資料

【資料内容】

1. 開催の辞
2. 議長団の選出
3. 会長 挨拶
4. 議 案
 - 1) 2022 年度事業報告 P.1~5
 - 2) 2022 年度決算報告 P.6~8
 - 3) 2022 年度会計監査報告 P.9
 - 4) 2023 年度事業計画案 P.10~13
 - 5) 2023 年度予算案 P.14~15
 - 6) 2023 年度薬友会役員・代議員等交代の件 P.16~19
5. その他
薬友会選挙管理委員会委員選出の件 P.20
6. 閉会の辞

【添付資料】

- 北里大学薬友会規約 P.21~24
北里大学薬友会選挙管理委員会運営規定 P.25

日 時：2023 年 5 月 20 日(土) 13:00~16:00

開催形態：ハイブリッド(対面 + オンライン)総会

大学会場：プラチナタワー 2F 3201 会議室

オンライン：会議システム Zoom 使用

各報告に対するコメントは、黒枠内に記載致しました。

【議案 1】 2022 年度北里大学薬友会事業報告

1. ホームカミングデイ・同期会の開催

北里大学薬友会規約により、本会は会員相互の親睦を図ることを目的とし、またその目的達成のために会員相互の交流及び親睦を掲げている。

2年連続で中止となったホームカミングデイ(HCD)・同期会は、まさに本薬学部の理解者・支援者である会員(卒業生)の旧交を温める場として重要なイベントであり、飲食を伴う親睦会も必要と考え、新型コロナウイルスの感染状況によるが対面開催を目指すこととした。

2023年2月には政府・東京都とも新型コロナウイルス感染症対策の基本方針が変更され、イベント開催制限等が緩和されていることに伴い、以下のとおり白金キャンパスにおいて対面で、HCD・同期会を開催することができた。なお、飲食を伴う懇親会は開催しなかった。

〔第4回ホームカミングデイ(HCD)〕

日 時：2023年3月19日(日)14時～16時

会 場：北里大学白金キャンパス 大村記念ホール、薬学部2号館、(北里柴三郎記念館の開館)

受 付：大村記念ホールロビー(受付開始：13時30分)

出席者数：会場出席者 62人(+同伴者3人)

(内訳) ・ 卒後50(1972)年の方 25人(+同伴者1人)
・ 卒後40(1982)年の方 18人
・ 卒後30(1992)年の方 5人
・ 卒後20(2002)年の方 10人(+同伴者1人)
・ 卒後10(2012)年の方 4人(+同伴者1人)

ライブ配信出席者 7人

(内訳) ・ 卒後40(1982)年の方 1人
・ 卒後30(1992)年の方 3人
・ 卒後20(2002)年の方 2人
・ 卒後10(2012)年の方 1人

スケジュール：

14時00分～14時05分： ご挨拶 成松由紹薬友会会長(5分)
14時05分～14時10分： ご挨拶 田辺光男薬学部長(5分)
14時10分～14時30分： 薬学部の変遷 長光亨教授(20分)
14時30分～15時20分： ご講演 檀原宏文名誉教授(50分)
15時20分～15時40分： 卒業期毎にご歓談
15時40分～16時00分： 卒業期毎に白金キャンパス(含研究室)見学
16時00分 : 卒業期毎に解散

2. 会報の発行

第 81 号 2022 年 8 月発行 部数： 2,500 部(会費納入者のみ配布)
第 82 号 2023 年 3 月発行 部数： 14,200 部(全会員に配布)

3. 同期会の援助

2 件

4. 薬友会情報センターの運営

- 1) 会員データの更新：随時更新
- 2) DM ラベルの打出し：3 件

5. 生涯学習セミナー(薬学部主催・薬友会共催)

2022 年度はコロナ禍の影響を考慮し集合研修の代替方法として、地方在住会員の方にも生涯学習の機会を得る場にもなり得る Zoom を利用したオンラインによるライブ配信及び開催後のオンデマンド配信で、6 回のセミナーを開催した。

第 1 回：2022 年 6 月 4 日(土) 14:30～15:30

演 題：「薬局と病院の連携、トレーニングレポートの活用について」
講 師：松本 雄介先生(青梅市立総合病院 薬剤部長)
ライブ配信受講者：43 名 オンデマンド配信視聴者：36 名

第 2 回：2022 年 7 月 9 日(土) 14:30～15:30

演 題：「小さい P 値、大きい P 値とは?～薬剤師がデータを読むときのヒント～」
講 師：道前 洋史先生(北里大学薬学部 臨床統計学 講師)
ライブ配信受講者：80 名 オンデマンド配信視聴者：44 名

第 3 回：2022 年 9 月 3 日(土) 14:30～15:30

演 題：「がん化学療法を学ぼう QOL を高める消化器がん化学療法の最前線」
講 師：西村 賢先生(北里大学北里研究所病院 腫瘍センター長)
ライブ配信受講者：66 名 先生の都合によりオンデマンド配信実施せず

第 4 回：2022 年 10 月 15 日(土) 14:30～15:30

演 題：「新型コロナウイルス PCR センターの立ち上げと活用」
講 師：石野 敬子先生(昭和大学薬学部 臨床薬学講座 感染防御薬学部門 教授)
ライブ配信受講者：40 名 オンデマンド配信視聴者：13 名

第 5 回：2023 年 1 月 21 日(土) 14:30～15:30

演 題：「糖尿病薬物療法の最近の話題～2 型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム～」

講 師：井上 岳先生(北里大学薬学部 薬物治療学Ⅲ 講師)

ライブ配信受講者：75名 先生の都合によりオンデマンド配信実施せず

第6回：2023年3月4日(土) 14:30～15:30

演 題：「薬剤師のための化学教育～現場で役立つ化学の知識」

講 師：牧野 一石先生(北里大学薬学部 医薬品化学 教授)

ライブ配信受講者：96名 オンデマンド配信視聴者：14名

※ ライブ配信受講者数・オンデマンド視聴者数は2023年3月31日現在の数

6. ホームページの維持・管理

- 1) 今年度も定期総会(オンライン総会)案内・報告、オンライン生涯学習セミナーの案内等を適宜掲載し、会員各位への情報提供に務めると共に、ホームページの維持管理を実施した。
- 2) メニューや類似記事の統廃合、掲載時間が長く閲覧頻度が低いと思われる記事の削除などを行い、ホームページのスリム化を行った。
- 3) インターネットで利用できる「フォームメーカー」や「Googl フォーム」、「Zoom(Webinar)」等を活用し、生涯学習セミナー参加者等への案内/参加受付等に効率的な事務局業務を実施した。
- 4) ベンダーに依頼しなくても薬友会事務局員の判断で情報掲載ができる「お知らせ」枠を活用し、生涯学習セミナー中止等、重要情報の迅速な伝達を実施している。
- 5) 理事と事務局の情報共有と業務効率化のため、グループウェア「サイボウズ Office」を導入し、運用を開始した。薬友会は非営利団体であるためサイボウズ社の非営利団体支援プログラムへの申請を行い、通常価格288万円/年のシステムを9,900円/年で利用することが可能となった。このシステムの運用のためにIT担当理事を専任し、効率的な運用を進めると共に一部の理事に業務が集中しないように調整していく。

7. 薬友会奨学金制度の実施

2022年度給付対象者：8名(10万円/人)

本制度が開設された2017(平成29)年度から2022(令和4)年度までの6年間の寄附金額は700万円(2020年度はコロナ禍の影響で困窮学生の増加が見込まれたため、別途100万円を追加拠出)に対し、奨学金給付者は59名(2021年度11名、2022年度8名、他の年度は各10名)590万円で、110万円が未給付の状態となっている。そのため2023年度の奨学金給付は、未給付となっている110万円(10万円/人×10名)を補充することとした。

8. 白金祭に対する援助

今年度の援助はなかった。

第43回白金祭は、新型コロナウイルス感染対策として、例年実施している催し物を大幅に制限し、10月22(土)の1日限りの開催となった。そのため学部予算内での開催可能となったため薬友会からの援助は行わなかった。

9. 準会員との交流

実施せず。

白金祭が開催予定日直前まで決定しなかったため時間的余裕がなく、交流は実施しなかった。

10. 薬友会奨励賞授与

2023年3月21日(火)

受賞者：石川 幸志、吉田 友哉、清水 夏

副賞：記念トロフィー + 名刺入れ

昨年に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染防止対策で卒業祝賀会は中止になったため、3名の受賞者には賞状及び副賞を郵送した。

11. 中長期事業計画の検討

A班(喜来班長)：薬友会関連・理事会関連

1) 薬友会会費納入に関する検討

現在、薬友会費納入はゆうちょ銀行、コンビニエンス及びPayPalにて受付けているが、PayPalでの納入が毎年10数件と少ないため2023年度をもって中止、代わりにネットバンキングでの納入を奨励することとなった。PayPal納入受付中止については会員に時間をかけて丁寧に説明することとした。

年会費5年分・終身会費の納入については、その金額等を継続検討する。

2) 薬友会理事会運営に関する検討

昨年の総会で副会長を2名以上とする規約改訂が承認された。現在の副会長(岡田年以(14PP)、関根正恵(23PP))2名に加え、事業計画の各班長(A班：氏原淳(19PP)、B班：三浦輝久(22PT)、C班：喜来望(36PP)、D班：池本尚(19PT)の各理事)を副会長とすることを総会で審議頂くこととした。

3) 薬友会への関心を喚起する方策の検討

コロナ禍で2019年度以降開催を見合わせていたホームカミングデイと同期会を開催した。

4) 薬友会組織運営に伴う規約・内規等の見直し

本年度は規約等の改定はなかった。

B班(三浦班長)：研修・生涯教育関連

1) 2022年度は生涯学習委員会でオンラインセミナー開催について検討を行い、合計6回のオンラインセミナーを開催した。

2) 開催したオンラインセミナーを録画し、後日オンデマンド配信を行った。

※ 1)及び2)については『5. 生涯学習セミナー(薬学部主催、薬友会共催)』P.2～3を参照。

C班(長光班長／氏原班長)：会報・ホームページ関連

- 1) 今年度の会報発行は、8月に第81号、2023年3月に第82号と2回発行した。
- 2) 会員から投稿頂いた記事、大学内の動向、薬友会の活動報告等を会報に掲載し、内容の充実に努めた。
- 3) ホームページ(HP)関連については、『6. ホームページの維持・管理』P.3を参照。

D班(池本班長)：同期会・懇親会関連

D班の2022年度活動報告は、『1.ホームカミングデイ・同期会の開催』P.1を参照。

12. 理事会開催(いずれも Zoom による Web 会議)

- 第1回：2022年 4月22日(金)
- 第2回：2022年 8月26日(金)
- 第3回：2022年10月28日(金)
- 第4回：2022年11月22日(金)
- 第5回：2022年12月23日(金)
- 第6回：2023年 1月27日(金)
- 第7回：2023年 3月10日(金)

13. 常任理事会開催

- 第1回：2023年 3月 2日(木) Web 会議

14. その他

【議案 2】2022 年度北里大学薬友会決算報告

2022 年度収支報告(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

〔収入の部〕

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増・減(△)
前期繰越金	2,444,832	2,444,832	0
還元金 ¹⁾	7,036,000	7,036,000	0
年会費 ²⁾	2,800,000	3,195,590	395,590
薬学部生涯学習業務受託料	3,000,000	3,000,000	0
懇親会参加者負担金 ³⁾	200,000	0	△200,000
雑収入 ⁴⁾	10,000	484	△9,516
合 計	15,490,832	15,676,906	186,074

1) 還元金：2022 年度全学同窓会費納入者 268 名(2021 年度 273 名)

2) 年会費：2022 年 3 月 26 日～2023 年 3 月 28 日年会費納入者 1,140 名(2021 年度 1,103 名)

3) 懇親会参加者負担金：今年度開催の薬友会主催 HCD・同期会では飲食を伴う懇親会はなかった。

4) 雑収入：預金利子、DM ラベル代

〔支出の部〕

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増・減(△)
総会開催費	450,000	290,688	△159,312
懇親会費	450,000	329,852	△120,148
事務局費	600,000	557,122	△42,878
会議費	500,000	441,450	△58,550
会報発行費	4,100,000	3,510,230	△589,770
薬学部生涯学習業務費	4,500,000	4,301,369	△198,631
ホームページ維持管理費	500,000	358,930	△141,070
人件費	2,400,000	2,400,000	0
慶弔費	50,000	6,710	△43,290
同期会援助費	100,000	29,119	△70,881
白金祭援助費	150,000	0	△150,000
薬友会奨励賞費	150,000	118,250	△31,750
奨学金制度	1,000,000	1,000,000	0
予備費	540,832	0	△540,832
小 計	15,490,832	13,343,720	△2,147,112
〔次期繰越金〕		2,333,186	2,333,186
合 計	15,490,832	15,676,906	186,074

〔財産目録〕 2023年3月31日現在

科 目	金 額
〔定期預金〕	
定期預金(UFJ)	17,550,000
定額預金(ゆうちょ)	7,000,326
小 計	24,550,326
〔普通預金〕	
普通預金(みずほ) ¹⁾	900,034
普通預金 I (UFJ)	2,182,075
普通預金 II (UFJ)	1,349,800
ゆうちょ	252,299
小 計	4,684,208
振替口座 ²⁾	0
現 金	119,542
小 計	119,542
合 計	29,354,076

1) 次期繰越積立金(2015年度：50万円、2016年度：40万円)

2) 2023年度薬友会年会費(ゆうちょ銀行分) 0件

〔収入の部〕

- ・ 前期繰越金は、2021 年度からの繰越金である。
- ・ 還元金は、全学同窓会から前年度の全学同窓会費納入者数及び会報発行郵送料補助によって算定・給付されるが、全学同窓会の予算見直しの一環として、2021 年度から 3 年をかけて毎年 10 万円減額されること、全学同窓会費納入者数が若干減少したことが重なり、前年度より 20 万ほど減額となっている。
- ・ 年会費は、年会費納入者数が前年度より若干増え、予算設定額より約 40 万の増額となっている。
- ・ 懇親会参加者負担金は、今年度は薬友会主催のホーカミングデイ・同期会を開催したが、飲食を伴う懇親会は実施しなかったため入金はなかった。
- ・ 雑収入は、預金利子である。

全体として前年度より年会費納入者数が増えたため、決算額は予算設定額より約 20 万円の増額となった。

〔支出の部〕

- ・ 総会開催費は、今年度の総会をオンライン形式で実施したため、交通費・資料印刷費等の支出がなく、大幅な減少となった。
- ・ 懇親会費は、薬友会主催のホーカミングデイ・同期会において、飲食を伴う懇親会を実施しなかったため、その支出内容は通信費、HCD・同期会講演謝礼等では予算額を下回った。
- ・ 会議費は、今年度 7 回の理事会、1 回の常任理事会を開催したが、何れも Zoom によるオンラインで実施したため交通費支出が減り、その支出は予算額を下回った。
- ・ 会報発行費は、年 2 回の発行に伴う印刷・発送費で、発送については 3 月発行分は全会員に、8 月発行分は年会費納入者に発送している。
- ・ 生涯学習業務費は、今年度は受講料を取らずにオンライン形式(ライブ・オンデマンド)にて 6 回開催したが、その経費は講師謝礼、Vimeo 利用料、関係者日当等の他に、学部から委託されている生涯学習事務業務全般及び薬友会業務(会員管理システム・年会費管理・会報関連の事務局業務、定期総会・ホーカミングデイ・同期会等薬友会行事補佐)を担当している派遣社員人件費である。
- ・ ホームページ維持管理費は、業者への維持管理委託料、サーバー・フォームメーカー・サイボウズ・BOX 等の使用料である。
- ・ 白金祭援助費は、今年度の白金祭が新型コロナウイルス感染の影響で、1 日のみの開催、出店なし等規模を縮小し、学部予算内で開催可能であったため、薬友会からの援助は見送った。
- ・ 薬友会奨励賞費は、大学から推薦された卒業生 3 名に贈呈した賞状・記念トロフィー・副賞(名刺入れ)の費用である。
- ・ 奨学金制度は、経済的理由等で困窮し学業を継続するのが困難な在校生(準会員)に対し、毎年 100 万円(10 万円 X10 名)を薬友会給付奨学金として大学へ寄付している。今年度は 8 名の在校生に給付されている。

全体として支出額は約 1,330 万円で、収入額から支出額を差し引いた約 230 万円が次期繰越金となる。

【議案 3】2022 年度北里大学薬友会会計監査報告

2022 年度北里大学薬友会決算報告書を監査した結果、その正確かつ妥当なることを認める。

2023 年 4 月 6 日

北里大学 薬友会 監事

青井 廣志 

沼崎 洋 

【議案 4】2023 年度北里大学薬友会事業計画(案)

1. 懇親会関連の開催・援助

今年度も[卒業生の出会いの場の創出]をテーマに掲げ、コロナ禍の影響を考慮しつつ同期会、研究室同窓会、クラブ活動のOB/OG会の開催を積極的に呼び掛け援助していく。また、地方での同窓会活動について引続きリサーチし、それらの地域薬友会支部化を働き掛け・援助する。

2. ホームカミングデイ(HCD)・同期会の開催

1) ホームカミングデイ(HCD)・同期会等の開催

対面による HCD の開催及び飲食を伴う懇談会の開催を目指す。2022 年度は 65 人の会場参加者であった。会場での全体説明は問題ないが、卒業年代別のキャンパス見学には要員の負担が多く、十分な見学もできないことから、薬学部のイベント(白金祭・進学相談会等)時の開催など、対象者が自由にキャンパスを見学できる日程・参加しやすい日程を勘案して開催日を検討する。また、「薬友会白金会」懇親会の対面開催(2023 年秋)を目指す。

〔第 5 回ホームカミングデイ(HCD)概要〕

開催日程：検討中 イベント 14 時～16 時、 懇談会 16 時～18 時

対象者：本学部卒後 50 年(1973 年)、40 年(1983 年)、30 年(1993 年)、20 年(2003 年)、10 年(2013 年) 3 月卒業の会員及びご家族の方
参加者 200 人を想定

会場：白金キャンパス 大村記念ホール・アリーナ(体育館)・学生食堂 他

イベント：オープンラボ、薬学部の現状報告、北里柴三郎に関する講演会 他

懇親会：卒後各年度同期会を体育館で同時開催(人数多数の場合は学生食堂も利用)

経費：500,000 円 (薬友会予算、薬学部負担金、懇親会参加者負担金にて実施)
〔内訳〕

・はがき代 63 円×1,200 人=75,600 円

・印刷代 50,000 円

・懇親会費 2,000 円×150 人=300,000 円 (別途参加者負担 1,000 円/人)

・講演会費 50,000 円

・その他 24,400 円

2) 薬友会白金会

学内教職員の親睦を図るため、白金キャンパスに在職する薬学部卒業生の懇親会開催。

【実績】 ・ 2018 年度

日時：2018 年 9 月 7 日(金) 19 時

場所：白金サロン (北里柴三郎記念館 2 階)

出席：45 人

・2019年度

日時：2019年11月20日(水) 18時

場所：白金サロン（北里柴三郎記念館2階）

出席：44人

3. 薬友会報の発行

1) 第83号 2023年8月 部数：2,500部(会費納入者のみに送付)

2) 第84号 2024年3月 部数：14,500部(全会員に送付)

※ 第63号(2013年3月発行)以降の会報は薬友会ホームページに掲載中)

4. 同期会への援助

通信費(切手・はがき代)・会場設定等の援助、地方会員の同窓会支部・同期会の開催支援

5. 薬友会情報センターの運営

1) 会員データのメンテナンス(住所、姓名の変更等)

2) DMラベルの打出し

6. 生涯学習セミナーの実施(薬学部主催、薬友会共催)

開催形態：オンラインセミナー(Zoomによるライブ配信・Vimeoによるオンデマンド配信)

受講料：なし(認定単位付与なし)

演題・講師：未定(決定次第、薬友会報、薬学部・薬友会フォームページ、LINE等で通知予定)

第1回：2023年6月3日(土) 14:30～15:30

第2回：2023年7月8日(土) 14:30～15:30

第3回：2022年9月2日(土) 14:30～15:30

第4回：2022年10月14日(土) 14:30～15:30

第5回：2024年1月20日(土) 14:30～15:30

第6回：2024年3月2日(土) 14:30～15:30

7. ホームページの維持管理

『13. 2023年度事業計画の検討、A班(氏原班長)：薬友会組織・理事会・ホームページ/IT・事務局関連』P.12 3) ホームページ/IT環境の整備の項を参照。

8. 薬友会奨学金制度の実施

今年度の奨学金給付は、現在未給付となっている110万円(10万円/人 X 10名)を補充することとし、予算立てはしないこととした。

9. 白金祭に対する援助

第 44 回北里大学白金祭

日 時：2023 年 10 月 28 日(土)～29 日(日)

場 所：北里大学白金キャンパス

10. 準会員との交流

2023 年 7 月及び 9 月予定

11. 薬友会奨励賞授与

2023 年度北里大学薬学部卒業祝賀会(2024 年 3 月 21 日(木)予定)にて授与。

12. 2023 年度事業計画の検討

3 年近く続いた新型コロナウイルス感染も小康状態となりつつあり、その間停滞していた事業活動の活性化を図る意味で、今年度は事業計画の役員班構成を見直し、新たに 4 班(A 班：薬友会組織・理事会・ホームページ/IT・事務局関連、B 班：研修企画・生涯学習関連、C 班：会報関連、D 班：同期会・懇親会関連)に再編成し、以下の活動を行うこととなった。

A 班(氏原班長)：薬友会組織・理事会・ホームページ/IT・事務局関連

1) 会費納入に関する検討

会費納入方法及び会費納入の向上に向けて、ホームページや会報での広報の見直しを図り、ネットバンキングの利用を促進する。

2) 理事会運営の検討

Zoom によるオンライン会議が一般的となり、グループウェアサイボウズ Office が導入されたため、リモートで可能な業務を理事間でシェアし、合理的な運営を検討する。理事会以外に、主に会長と副会長から構成される常任理事会の役割分担を明確化し、緊急性が高く重要な課題や会の運営に柱となる課題について常任理事会で議論し、その結果を理事会に諮り検討する流れを具現化していく。

3) ホームページ・IT 環境の整備

ホームページによる会報や生涯学習セミナーの動画配信など、引続き会員にとって有用な情報提供を行っていく。また、理事会運営の IT 基盤も整備し、利用しやすくセキュリティにも配慮した業務システムの構築を行っていく。

4) 薬友会への関心を喚起する方策

学内の理事の協力を得ながら、準会員への広報や D 班によるホームカミングデイ・同期会の開催をサポートしていく。

5) 薬友会組織運営の検討

事業計画班の各班の班長が副会長となったことを活かし、運営メンバーとして連携を密に取りながら担当毎の業務の見直しとスリム化を図る。特にそれぞれの理事が本業の仕事をもった上での作業となるため、インターネットや IT をフルに活用し、業務の可視化・効率化を徹底して

いく。

B班(三浦班長)：研修企画・生涯学習関連

1) 生涯学習セミナー外部委員としての協力

生涯学習セミナーは2022年度までは薬友会が事務局として業務委託をされ開催されてきたが、2023年度からは薬学部が主催で企画・運営の全てを行うこととなった。

今回の変更は、新しい「薬学モデル・コア・カリキュラム」において、学生のうちから生涯学習の重要性を認識するための教育カリキュラムの必要性が示されるようになり、今後は卒後教育と共に現学生への教育のあり方についても検討していくことが必要になったためである。薬友会としては生涯学習セミナーの企画等に関して今後は外部委員として協力をしていく。

2) 薬友会主催生涯学習セミナー開催についての検討

1)で示した通り、今まで行ってきた生涯学習セミナーの開催方法に変更があったため、今後は薬友会独自企画の生涯学習セミナーの開催について検討する。

C班(喜来班長)：会報関連

薬友会報の発行及び内容の充実化

D班(池本班長)：同期会・懇親会関連

1) ホームカミングデイ・同期会の開催

2) 薬友会白金会の開催

1)及び2)については『13. 2023年度事業計画の検討、2. ホームカミングデイ(HCD)・同期会の開催』P.10を参照。

3) 地域別交流を深める会の開催(地域版ホームカミングデイ)の検討

学会開催時では人が集まらないので、交流会を主眼とした「地域版ホームカミングデイ」を検討する。

【議案 5】2023 年度北里大学薬友会予算(案)

2023 年度北里大学薬友会予算案(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

[収入の部]

(単位：円)

科 目	予 算 額	摘 要
前期繰越金	2,333,186	
還元金	6,856,000	2022 年度全学同窓会会費納入者 268 名
年会費	2,800,000	2022 年度年会費納入者 1,140 名
懇親会参加者負担金	200,000	卒後 50・40・30・20・10 年目同期会等
雑収入	10,000	預金利子、DM ラベル代
合 計	12,199,186	

[支出の部]

科 目	予 算 額	摘 要
総会開催費	1,000,000	2023 年 5 月 20 日(土)13:30～
懇親会費	550,000	卒後 50・40・30・20・10 年目同期会等
事務局費	700,000	
会議費	550,000	理事会、常任理事会、事業活動会議等
会報発行費	4,000,000	第 83 号(2023 年 8 月)、第 84 号(2024 年 3 月)
ホームページ維持管理費	500,000	システム構築・メンテナンス費等
人件費	4,000,000	派遣社員・派遣職員(事務長)等人件費
慶弔費	50,000	
同期会援助費	100,000	通信費補助、地方支部設立・同期会援助
白金祭援助費	150,000	白金祭(2023 年 10 月 28～29 日予定)
薬友会奨励賞費	150,000	卒業祝賀会(2024 年 3 月 21 日予定)
奨学金制度	0	在校生への薬友会給付奨学金
予備費	449,186	
合 計	12,199,186	

〔収入の部〕

- ・ 前期繰越金は、前年(2022年)度からの繰越金である。
- ・ 還元金は、全学同窓会からの補助で前年度の全学同窓会費納入者数及び会費発行郵送料補助等で算定・給付される。2022年度の全学同窓会費納入者数268名と昨年度より若干減少しており、また、全学同窓会予算見直しの一環として2021年度から3年かけて毎年10万円ずつ減額されたため、昨年度より約18万円の減額となっている。
- ・ 懇親会参加者負担金は、ホームカミングデイ・卒後10/20/30/40/50年目同期会参加者を200名(1,000円/人)として設定した。
- ・ 昨年度まで薬友会が大学から委託されていた生涯学習セミナー関連業務が、今年度から大学へ移管されたため、今年度は今まで予算に組入れられていた生涯学習受託料・生涯学習セミナー受講料の入金はなくなった。

2023年度予算案の収入は約1,220万円となり、この財源の元に事業活動を行うこととなる。

〔支出の部〕

各科目の予算設定額は、昨年度の実績及びコロナ禍以前の実績を勘案して計上した。

- ・ 総会開催費は、今年度はハイブリッド(対面+オンライン)形式で実施するため、大学会場にて出席する代議員の交通費を勘案し、また、通信費の値上がり等を見込み、昨年度より大幅に増額した。
- ・ 懇親会費は、昨年度より若干多めのホームカミングデイ・同期会参加者数を見込み、また、昨年実施できなかった薬友会白金会開催を考慮して、昨年より10万円多く見積もった。
- ・ 会報発行費は、今年度も紙代・送料等の値上がりが予想されるが、昨年度は予算額より約60万円の余剰金があったため、今年度は10万円減額して計上した。
- ・ 人件費は、昨年まで生涯学習業務費で補填していた派遣社員費用と派遣職員の費用である。
- ・ 奨学金制度は、今年度は計上せず、昨年度までの拋出金(過去6年間で700万円)のうち、奨学金給付者は59名(590万円)であり110万円が未給付として大学側に残っている。この110万円で今年度の対象学生選抜・給付を実施するよう大学に依頼している。2024年度以降は従来通り100万円を計上する予定である。

【議案 6】2023 年度北里大学全学同窓会及び薬友会役員

【全学同窓会】 敬称略

副会長(1) 池本 尚(19PT)

監 事(1) 根岸 春夫(6PT)

理 事(4) 成松 由紹(3PT)、 厚田幸一郎(11PT)、 岡田 年以(14PP)、 喜来 望(36PP)
代 議 員 鹿兒島正豊(1PP)、 西山 道久(2PT)、 二村 典行(6PT)、 藤井 則明(9PT)、
(17) 吉山 友二(12PT)、 堀口 雅巳(12PT)、 笹嶋 政昭(14PP)、 相良 眞一(14PT)、
松田 佳和(15PP)、 森田 豊(15PT)、 鈴木 秀人(16PP)、 蒲谷 浩司(17PP)、
中森 俊宏(18PT)、 氏原 淳(19PP)、 関根 正恵(23PP)、 長光 亨(24PT)、
長尾 剛司(26PT)

北里研究所評議員(1) 成松 由紹(3PT)

【薬 友 会】 敬称略 (26名) (_____ : 新任)

会 長(1) 成松 由紹(3PT)

副会長(6) 岡田 年以(14PP)、 関根 正恵(会長代行 23PP)、
氏原 淳(19PP)、 三浦 輝久(22P)、 喜来 望(36PP)、 池本 尚(19PT)

理 事 富野 絹雄(1PT)、 伊藤 毅(2PT)、 根岸 春夫(6PT)、 厚田幸一郎(11PT)、
(17) 吉山 友二(12PT)、 堀口 雅巳(12PT)、 相良 眞一(14PT)、 森田 豊(15PT)、
小平 久正(16PP)、 有田 悦子(19PP)、 澤井 敏樹(21PT)、 長光 亨(24PT)、
長尾 剛司(26PT)、 川上 美好(29PP)、 山本 大介(33PT)、 関根麻理子(34PP)、
春日井公美(37PP)

監 事(2) 青井 廣志(5PP)、 沼崎 洋(9PT)

顧 問(4) 鹿兒島 正豊(1PP)、 松山 重雄(1PP)、 針谷 義弘(1PP)、 水谷 努(3PT)

2023 年度薬友会役員人事において、昨年の総会にて承認頂いた「副会長 2 名以上」を、昨年度迄の副会長 2 名の他に今年度事業計画の各班長を副会長に任命し、それぞれの班及び班メンバーと連携して担当業務の見直し・スリム化・効率化を図り業務遂行にあたることとした。また、薬友会会長は全学同窓会理事等、他組織の委員を兼務し業務が多岐にわたることから、薬友会関連の業務については会長代行に移行することとした。

〔新代議員の選出〕

新代議員：2023年3月卒業(敬称略)

55PP(薬学科)

京墓 優(きょうづか ゆう)

高 理絵(こう りえ)

野田 泰輝(のだ たいき)

丸山 湧史(まるやま ゆうし)

14PL(生命創薬科学科)

高橋 龍一(たかはし りゅういち)

2023 年度北里大学薬友会代議員一覧

[薬学科(PP) 敬称略] (_____ : 新任)

代議員 大谷 元光・矢澤 勝彦(1PP)	河野 光男・伊藤 芳之(2PP)
堂東 邦宏・砂金 信義(3PP)	西川 均・高橋 進(4PP)
高橋 豊・後村 猛(5PP)	斉藤 太郎・洞ヶ瀬 栄子(6PP)
木村 明・池田 利博(7PP)	久保木 輝雄・大西 龍也(8PP)
栢森 裕三・清水 澄(9PP)	武部 雅人・南田 東彦(10PP)
久米 誠・平野由紀子(11PP)	秋山 博・宮下 精一郎(12PP)
清原 寛章・深町 伸子(13PP)	田端 大祐・笹嶋 政昭(14PP)
松田 佳和・丸山 剛(15PP)	鈴木 秀人・中村 匡宏(16PP)
蒲谷 浩司・田野 良夫(17PP)	上岡 健人・波多野 紀子(18PP)
町田 充・藤極 範子(19PP)	田中 久美子・田中 陽(20PP)
遠藤 政彦・杉浦久仁子(21PP)	佐藤 幸子・晴被 直子(22PP)
井上 朋子・高橋 良絵(23PP)	井上智之・奈良場 純子(24PP)
宮沢 伸介・丸山 純一(25PP)	武田 典子・津端 由佳里(26PP)
角 大悟・寒河江 珠代(27PP)	古川 尊久・山崎 由紀子(28PP)
生駒 徹・茂出木 耕一(29PP)	鈴木 邦生・吉田 康一郎(30PP)
橋口 宏司・芳村 峰花(31PP)	大野 典子・清水目 梢(32PP)
高橋 亮・谷山 和弘(33PP)	八木 晃子・松澤 弘志(34PP)
小林 彦登・萬羽薫美子(35PP)	早崎 真弘・佐野 美紗子(36PP)
鈴木 利幸・木村 夏樹(37PP)	有川 慎葉・高橋 光夫(38PP)
中野 貴之・柚木 麻姫(39PP)	松本 真澄・井本 千尋(40PP)
関谷 路子・餅田 智行(41PP)	安澤 直幸・山本 啓介(42PP)
大谷 和真・山崎 柚(44PP)	坪田 留央依・細井 智弘(44PP)
相原 未希・佐川 智則(45PP)	橋本 健士郎・船渡 聖太(45PP)
森野 亜希・岸川 瞳(46PP)	西垣 哲太・山田 翔太(46PP)
松田 舞子・小玉 智香(47PP)	辻岡 恵里子・山名 里穂(47PP)
梅原ありさ・川村 舞雪(48PP)	飯高 祐里香・星 安里紗(48PP)
柿崎 佑斗・佐々木貴央(49PP)	馬場 優樹・李 大葵(49PP)
青山 亮太・梅本 沙英(50PP)	時澤 秀明・矢野 真輝(50PP)
伊木 祥子・坂根 宏明(51PP)	比佐 祐介・村山 晃大(51PP)
伊藤 大智・角倉 弘太(52PP)	永野 風鳥霞・船越 美緒(52PP)
石原 朋実・櫛田 優花(53PP)	西方 大貴・山崎 千佳(53PP)
伊藤 慶紀・嶋崎 泰佑(54PP)	田中 亮吾・本間 愛梨(54PP)
京墓 優・高 理絵(55PP)	野田 泰輝・丸山 湧史(55PP)

[製薬学科(PT)、薬科学科・生命創薬科学科(PL) 敬称略] (~~~~~: 新任)

代議員 毛利 隆明・大沢 彰(1PT) 西山 道久・坂本 康夫(2PT)
武田 収功・吉澤 芳夫(3PT) 倉澤 嘉久・村瀬 義之(4PT)
宮田 義久・岩崎 裕二(5PT) 二村 典行・高橋 勇(6PT)
池田 了・三田 正之(7PT) 入江 英治・青野 雄三(8PT)
藤井 則明・高柳 博(9PT) 坂田 修・小堀 ひとみ(10PT)
松原 肇・加藤 崇人(11PT) 源川 良一・星野 隆一(12PT)
大河原 均・岩瀬 一彦(13PT) 岡村 信吾・埴 真也(14PT)
新井 隆・松本 啓一(15PT) 阿部 章夫・鈴木 智美(16PT)
小瀧 裕道・関根 澄江(17PT) 中森 俊宏・八谷 恵美子(18PT)
今井 庸介・長友 恵(19PT) 伊藤 靖・久保田 理恵(20PT)
倉茂 了・小林 敏明(21PT) 井手上 圭一・片平 優(22PT)
杉木 伸・奈良場 博昭(23PT) 遅澤 篤・阪柳 正隆(24PT)
渡邊 洋子・古籟 崇紀(25PT) 池田 和子・金子 正美(26PT)
中島 啓行・市川 奈緒子(27PT) 柳原 壮一郎・大島 崇弘(28PT)
門脇 正昌・重松 朝子(29PT) 浅沼 聡・本郷 守正(30PT)
亀井 梨生・八木原 浩子(31PT) 岸本 亜希子・高石 勝(32PT)
三浦 健志・宮本 幸恵(33PT) 吉田 泰宏・平井 景子(34PT)
土田 健二・陳 妍希(35PT) 福田 岳夫・丸本 かおり(36PT)
勅使川原智史・吉野 真通(37PT) 黒田 大祐・古関 義隆(38PT)
齊田 瞬・大島 健二(39PT) 松永 麻理・山本 善也(40PT)
和田 絢子・駒田 沙織(41PT)

佐藤 大史(1PL)
牧谷 佳苗(3PL)
峯田 浩司(5PL)
池田 隼人(7PL)
大瀬 尚希(9PL)
中原 茜(11PL)
鈴木 大貴(13PL)

中嶋 龍(2PL)
伊達 茜(4PL)
小山 朋子(6PL)
小此木 闘也(8PL)
植松 まりな(10PL)
工藤 春伸(12PL)
高橋 龍一(14PL)

5. その他 薬友会選挙管理委員会委員選出の件

「北里大学薬友会選挙管理委員会運営規程」(添付資料参照)

第2条 選挙管理委員の選出は、改選前年度の総会において、出席役員・代議員のなかから選出する。

2 選挙管理委員会の委員長は委員の互選により選出する。

第5条 選挙管理委員の定員は5名とする。

但し、選出時において他に5名を順位を付して選出し、選挙管理委員が被選挙人となった場合は順次交代するものとし、任期は前任者の残任期間とする。

今年度は改選前年度に該当し、選挙管理委員を選出しなければならない。

方法としては現在総会(大学会場+オンライン)に出席されている役員・代議員の中から、5名連記のオンライン投票で実施することとする。

北里大学薬友会規約

第一章 総 則

第1条(名称) 本会は北里大学同窓会薬学部会であり、北里大学薬友会と称する。

第2条(目的) 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて文化・教養の向上に資し、以って北里大学薬学部の発展に寄与することを目的とする。

第3条 本会はその目的を達成するために次の事業を行なう。

1. 会員相互の交流および親睦
2. 会報の発行
3. 講演会・講習会等の開催
4. 準会員への支援
5. その他、必要と認められる事業

第4条 本会は事務局を東京都港区白金5丁目9番1号北里大学薬学部内に置く。

第二章 会 員

第5条 本会は次の会員で組織する。

1. 正会員 A会員 北里大学薬学部卒業生
 B会員 入会を希望する北里大学大学院薬学研究科修了者
2. 準会員 北里大学薬学部学生
3. 特別会員 (イ) 北里大学薬学部現教職員
 (ロ) 理事会で推薦した北里大学薬学部旧教職員
4. 名誉会員 本会および学部の発展に寄与した者で理事会で推薦し、総会で承認された者
5. 賛助会員 本会の主旨に賛成し理事会で承認した者

第6条 本会は名誉会長および顧問を置くことができる。

- 2 名誉会長および顧問は、理事会で推薦し、総会で承認する。

第三章 役 員

第7条 本会には次の役員を置く。

会長 1名 副会長 2名以上
理事 30名以内(常任理事若干名を含む)
監事 2名

- 第8条 会長は本会を代表し、会務を総べ理事会の議長となる。
- 2 副会長は会長を助け、会長に事故あるときはその職務を代行する。
 - 3 理事は理事会を組織し会の運営にあたり、常任理事は常任理事会を組織して事業の執行にあたる。
 - 4 監事は会計および事業の監査を行なう。

- 第9条 役員の選出は次の方法による。
1. 役員は正会員より選出する。
 2. 会長・副会長は理事会で推薦し総会で選任する。
 3. 理事は正会員の推薦による者、ならびに理事会で推薦した者を総会で選任する。
 4. 常任理事は理事会で互選する。
 5. 監事は総会で選任する。

第10条 役員の任期は3年とし再任することができる。

第11条 本会に職員を置くことができる。

第四章 会 計

第12条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第13条 正会員および賛助会員は会費を納めるものとする。その金額および納入方法については別に定める。

第五章 会 議

第14条 会議は定期総会・臨時総会・理事会および常任理事会とする。

- 2 定期総会は毎年5月中に開催し、次の事項を審議決定する。
 1. 役員の選任
 2. 前年度の事業報告
 3. 前年度の収支決算の承認
 4. 当年度の事業計画
 5. 当年度の予算
 6. その他

- 3 臨時総会と理事会、常任理事会は必要に応じて会長が招集する。
但し、役員または代議員の3分の1以上から要求があった場合は、会長は速やかに臨時総会を招集しなければならない。

第15条 総会の構成および運営は次の如くとする。

1. 総会は役員および代議員を以って構成する。
但し、会員は出席して意見を述べることができる。
2. 代議員は各科各期の正会員の人数を考慮して人数を理事会で決定し、各科各期で推薦し、総会で選任する。代議員の任期は3年とする。
3. 総会の開催は役員および代議員の3分の1以上の出席を必要とする。
4. 総会の議長団は構成員より選出する。
5. 総会の議決は出席役員および代議員の過半数による。
但し、規約の改正は別章に定められた方法によって行なわれる。
6. 役員および代議員が総会に出席できないときは同科、同期所属会員に代理出席を委任するか、議長に白紙委任することができる。
7. 特に緊急を要するときは役員および代議員の書面審議を以って総会に代えることができる。

第16条 理事会は会長・副会長・理事・監事を以って構成し、常任理事会は会長・副会長・常任理事を以って構成する。

- 2 理事会および常任理事会の開催はその構成員の3分の1以上の出席を必要とする。
- 3 理事会に出席できない理事は他の理事にその権限を委任することができる。
- 4 理事会および常任理事会の議決は出席者の過半数による。

第17条 理事会は次の事項を決定する。

1. 総会の議案に関する事項
2. 本会の運営上必要な細則制定に関する事項
3. その他会務運営上必要な事項

第18条 常任理事会は会務執行上必要な事項につき議決する。

第六章 支 部

第19条 本会は理事会の議決を経て支部を置くことができる。

第七章 雑 則

第20条 本会には選挙管理委員会を置くことができる。

第八章 改正

第 21 条 規約の改正は理事会の過半数の賛成を得てこれを発議し、総会の 3 分の 2 以上の賛成を以ってなされる。

附 則 本規約は昭和 40 年 1 月 1 日より施行する。

昭和 46 年 4 月 1 日改正

昭和 55 年 5 月 20 日改正

昭和 55 年 10 月 26 日改正

昭和 60 年 12 月 4 日改正

平成 24 年 5 月 20 日改正

平成 30 年 5 月 19 日改正

2022 年 5 月 21 日 改正

北里大学薬友会選挙管理委員会運営規程

本規定は、北里大学薬友会(以下 本会と称する)規約第 20 条に基づくものである。

第1条 選挙管理委員会は、選挙管理委員によって組織され、本会が行なう次の選挙の管理運営を行なう。

イ. 本会の役員の改選・補充に関するもの。

ロ. 本会の代議員の改選・補充に関するもの。

ハ. 本会から北里大学同窓会役員への推薦に関するもの。

2 本会から北里大学同窓会代議員への推薦に関するもの。

但し、当分の間はロ. に関する選挙については、各期・各科代議員に委託して行なうものとする。

第2条 選挙管理委員の選出は、改選前年度の総会において、出席役員・代議員のなかから選出する。

2 選挙管理委員会の委員長は委員の互選により選出する。

第3条 選挙管理委員の任期は、選出時より当該年度の選挙が全て完了した時点までとする。

但し、選挙管理委員会の委員長はその経過を選挙終了後の総会において報告するものとする。

第4条 選挙管理委員は当該選挙の選挙権と共に被選挙権も有する。

第5条 選挙管理委員の定員は 5 名とする。

但し、選出時において他に 5 名を順位を付して選出し、選挙管理委員が被選挙人となった場合は順次交代するものとし、任期は前任者の残任期間とする。

附 則 本規程は昭和 60 年 12 月 4 日より施行する。

昭和 61 年 6 月 13 日改正

